

相模原市障害者施設殺傷事件について

公益社団法人全国精神保健福祉会 事務局長コメント

2016.7.27

平成28年7月26日未明、障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」において、施設入所者19人が命を奪われ、26人が負傷するという史上類のない事件が発生しました。被害に遭われ亡くなられた方々に、衷心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にはお悔やみ申し上げます。また、傷害をうけられた方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

犯行に及んだ男の残忍な行動は、いかなることがあっても許すことはできません。当事者のみなさんはもちろんのことですが、私たち障害をもつ本人と家族に甚大な苦痛と不安の最たる傷を負わせることになりました。

なぜ、このような事件がおきてしまったのかは、その背景や動機などの真相は不明な段階です。どうしてこのような事件が起きてしまったのか、事件背景と真相究明を求めます。容疑者は、自ら犯した罪の重大さを認識しなければなりません。

この中で容疑者には精神科病院の入院歴があることが報道されていますが、精神障害者全体の差別や偏見、誤った認識につながることを危惧します。問題の根源は、世界に類をみない長期入院が問題となっている精神医療の現実があります。入院さえしていれば治療されるのではなく、入院は一時的な対応手段でしかありません。退院後に地域で本人を孤立無縁にさせない、安心して生活していける仕組みをつくることがなければ意味がありません。各報道機関、関係機関には慎重な対応をお願いいたします。そのためにも事件の事実について議論の経過を情報として開示し、今後の再発防止につなげてください。

事務局長 小幡恭弘